

Q

網入りガラスが何の理由もなしに割れたのですが？

A

ガラスは熱によって膨張する性質があり、日射熱によってガラスにひびが入ることがあります。これを「熱割れ」と呼んでいます。

熱割れは窓ガラスに日射が当たりますと、ガラスの中央部と周辺部に温度差ができ、ガラスの種類と使用条件によって、その熱膨張の差が大きくなり歪みが発生します。その現象によりガラスにひびが入っているとされています。

また、この熱割れは物理現象のため、完全に防ぐことは現状では極めて困難といわれています。

1. 熱割れを生じやすいガラス

(1)網入りガラス

防火性、脱落防止性に優れていますが、一般のガラスに比べて温度差による熱割れが生じることがあります。

(2)熱線吸収ガラス・熱線反射ガラス

冷房時の省エネルギーに優れた効果をもたらしますが、一般のガラスに比べて日射部分と影の部分で温度差が出やすく、熱割れが生じることがあります。

2. 熱割れを防止するには

(1)カーテンやブラインド、家具などを室内側のガラスに密着させないで下さい。

(反射、放射、熱だまりを作らない。)

(2)ガラスにポスターやシールを貼ったりペンキを塗ったりしないで下さい。

(3)冷暖房の吹き出し空気や熱を直接ガラスに当てないで下さい。

(4)断熱・日照調整フィルムは貼らないで下さい。

[\(日本サッシ協会HP『サッシ・ドアの豆知識』より引用\)](#)